広　い　心

学校便り　　11号
令和８年　　10月23日
宮古島市立　狩俣小学校
発行者：校長　喜屋武真史

全宮古小学校陸上競技大会

10月17日(土)、全宮古小学校陸上競技大会が行われました。狩俣小からは、3年生以上の中から11名が選手として出場しました。前日の選手推戴式では、児童代表6年生の**真菜さんから、「足が痛くなるのを我慢して練習を頑張ってきた。本番で力を出し切りたい。」という言葉がありました。**その言葉の通り、どの子も真剣な表情で競技に参加し、一生懸命でかっこいい姿を見せてくれました。今回は、各種目とも決勝に残ることはできませんでしたが、**「今持っている力を出し切ることができた」**と思います。もう一つ**嬉しかったのは、1、2年生や競技を終えた子供たちが、仲間を応援する姿**です。大きな声で一生懸命応援していました。**狩俣小の選手だけでなく、他校に転出した旧友を見つけて応援したり、一生懸命走っている他校の選手にも「頑張れ～」と大きな声援を送っていました。「応援賞」があれば1位だったかもしれません。**

選手も応援もみんなが力を出し切った、素敵な陸上競技大会でした。










読書への誘い（図書委員の発表）

10月7日(水)、読書の面白さを伝えようと図書委員会による発表がありました。まず、はじめに**慶裕さんがエプロンシアターで「食いしん坊ゴリラ」を披露してくれました。みんな物語の内容とエプロンのゴリラの動きにくぎ付けで、ケタケタ笑っていました。**次に、ペープサートで「若返りの水」を演じてくれました。低学年の児童も物語に引き込まれているようでした。最後に慶裕さんと真菜さんで、大型紙芝居「ごきげんのわるいコックさん」を読み聞かせてくれました。**慶裕さんの「みんなを楽しませる声の表現」や真菜さんの「きれいな声で丁寧によむ聞きやすさ」が素敵でした。**

読書月間に入り、子供たちが興味を持ちそうな本を紹介してくれたり、今回のようにみんなが喜ぶ方法で物語の世界の楽しさを伝えてくれたりと大活躍の図書委員会の2人です。



